

令和3年度第2回大阪市地方独立行政法人大阪市博物館機構評価委員会 議事要旨

1 日 時：令和3年9月1日（水）午後2時00分～午後4時00分

2 場 所：大阪市立東洋陶磁美術館 地下1階 会議室

3 出席者：

【委員】伊藤委員、栗原委員、佐々木委員、谷川委員、山西委員、吉田委員

【大阪市】経済戦略局山本文化部長、油谷博物館支援担当課長、稲垣博物館支援担当課長代理 他

4 議 題：

(1) 令和2年度 地方独立行政法人大阪市博物館機構の業績評価に対する本市評価について
(小項目及び中項目)

(2) 令和2年度 地方独立行政法人大阪市博物館機構の業績評価に対する総評

5 議事要旨

(1) 令和2年度 地方独立行政法人大阪市博物館機構の業績評価に対する本市評価について
・本市から資料1～3に基づき説明を行った。その後、質疑・審議を行い、前回の評価から変動があるもの及び前回の委員会において保留としていた項目について、委員会と事務局で意見のすり合わせを行った。

[主な意見]

- ・マーケティングの実施できなかった部分については、民間の専門家を採用する等、改善策を講じる必要がある。
- ・子ども及び教員への支援について、各館での取り組み内容に濃淡があることは理解できる。
- ・年度計画の時点で実施することを明確にし、法人内で合意されてることが大事。
- ・前回の委員会で、年度計画に記載はなかったが、実際に実施しているということで、加点している項目があった。
- ・コンテンツに関する評価については、コロナ禍により入館者数が減少した状況を記載したうえで、具体的な代替措置の内容を記載すること。

(2) 令和2年度 地方独立行政法人大阪市博物館機構の業績評価に対する総評

- ・本市から資料4(2)に基づき説明。小項目・中項目評価を俯瞰したうえで、一定の評価を行い、令和2年度は特に、コロナ禍において、事業再開に向けた迅速な対策や、代替措置を行ったことについて評価している。

[主な意見]

- ・全体的に良いことしか記載していないので、課題となる部分も記載すること。
- ・令和2年度の主な取り組みとしては、「人材確保・育成」と「ICTの促進」であり、こういった点を全体評価に記載してはどうか。

- ・今後もコロナ禍の状況は続くことが考えら、その中で教育支援や参画について、どのように取り組むのか言及してもいいのではないか。

6 会議資料

- 資料 1 業務実績にかかる小項目評価 修正箇所抜粋版
- 資料 2 業務実績にかかる小項目評価一覧表 (案)
- 資料 3 令和2事業年度にかかる業務の実績に関する評価結果小項目評価案
- 資料 4 達成度評価シート (案)
- 参考資料1 評価委員会指摘事項に関する追加回答